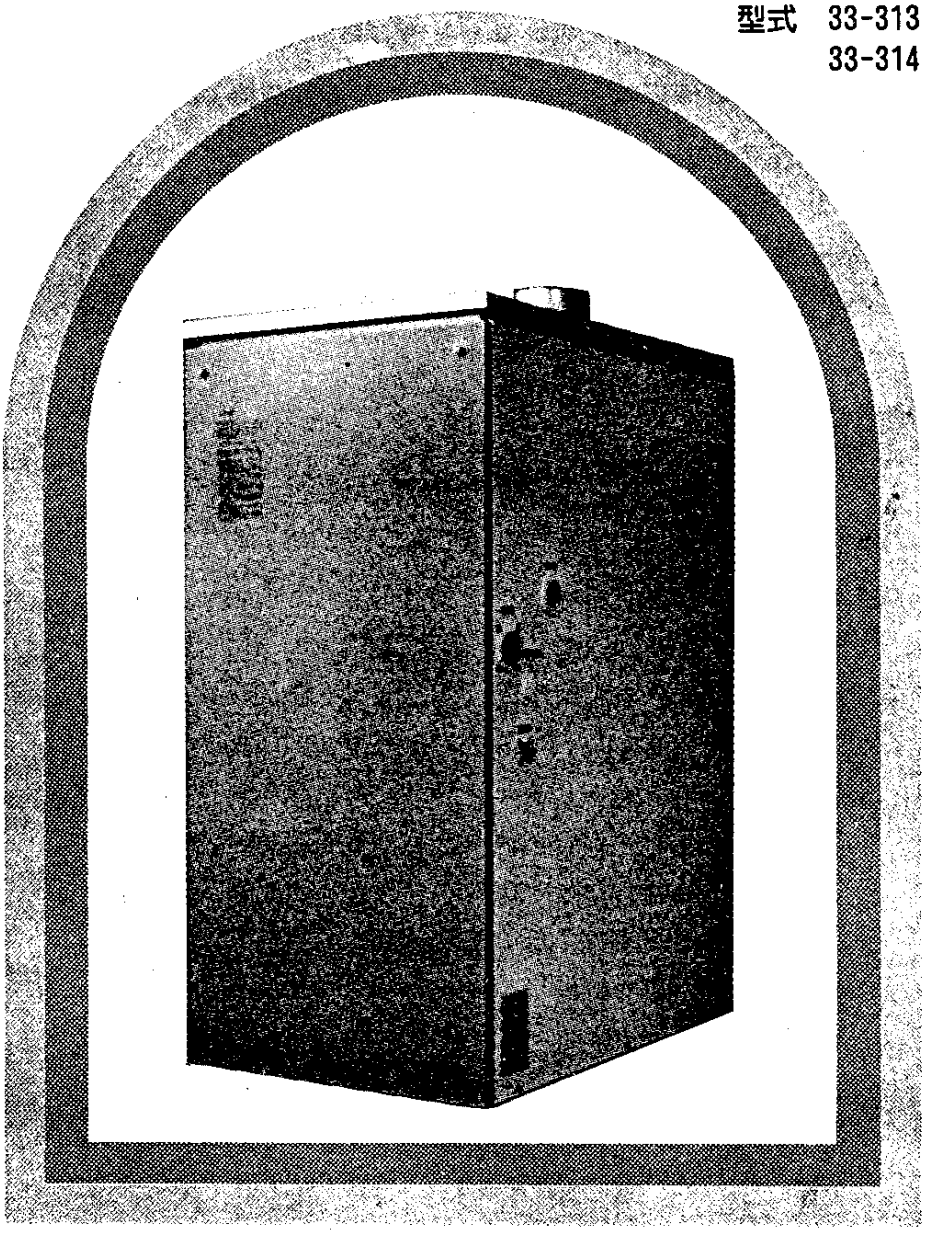
大阪ガス

ガス温水ボイラ
取扱説明書

保証書付

型式　33-313
　　33-314



●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があれば販売店もしくは、弊社にお問い合わせください。

ご あ い さ つ

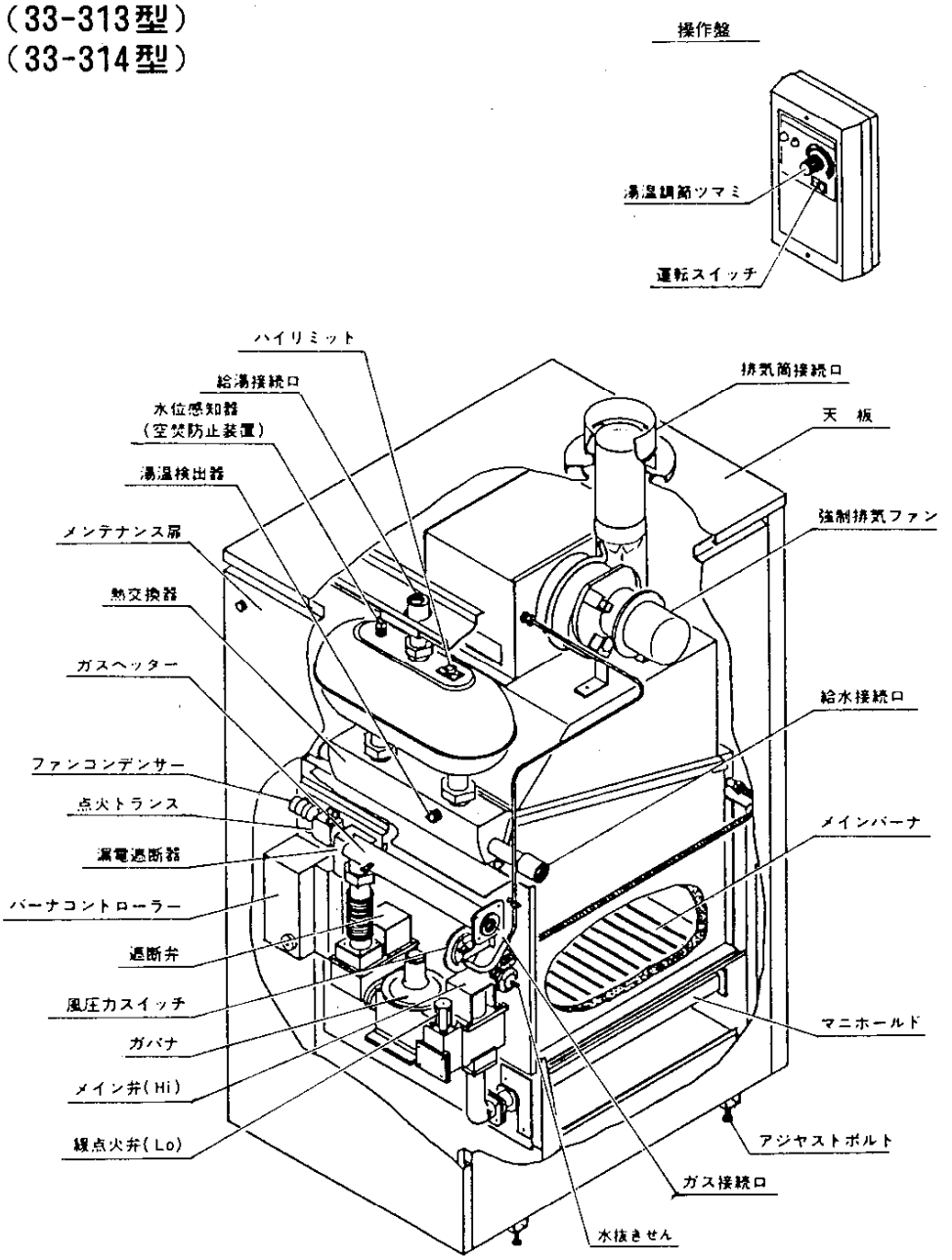
このたびは、ガス温水ボイラ〈高温瞬間式〉
をお求めいただきありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に
保存してください。

もくじ

- 各部の名称……2
- 特に注意していただきたいこと……3～6
- 器具の設置……6～7
- 使用手順……7～11
- 使用時のご注意……12～13
- 日常の点検・手入れ……13～14
- 故障・異常の見分け方と処置方法……15
- 長期間使用しない場合……16
- アフターサービスのお申し込み……16～17
- 寸法図……18～19
- 仕様一覧表……20
- 特長……21
- 本製品と快適なくらしのために……22

各部の名称

（33-313型）
（33-314型）

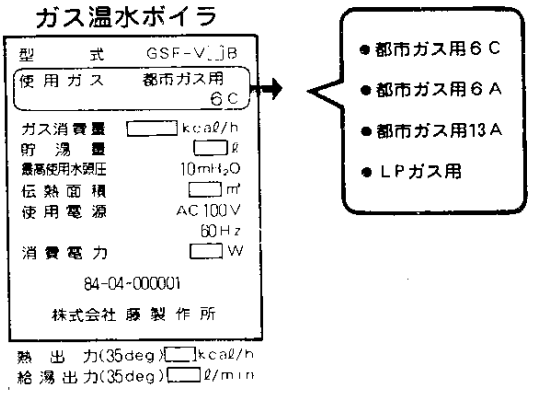


特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

● **ガスの種類を確かめてください。**
ガス器具本体右側面にはってある銘板（ラベル）に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



● ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

● 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

● この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

用途についてのご注意

● 器具にご使用になる水は、必らず水道水をお使いください。万一ほかの水をご使用になる場合は、水道水に準じた水質で、且つ軟化装置をとおした軟水をお使いください。

特に注意していただきたいこと②

〈ご注意〉硬水でお使いになりますと、腐食やつまりの原因になりますので、保証の対象にはなりません。

- 飲料水としてお使いのさいはヤカンなどに受けて、今一度煮沸してから飲用にお使いください。

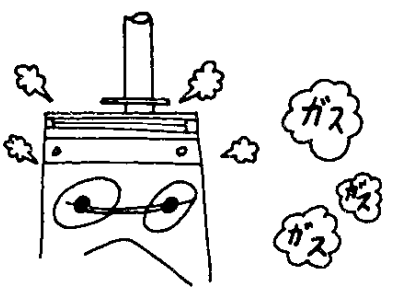
〈ご注意〉使用水の水質、配管材料などにより水質がかわることがあります。

使用場所についてのご注意

- 器具には屋外設置型と屋内設置型とがあります。別冊の工事説明書**「使用場所についてのご注意」**の項をお読みください。

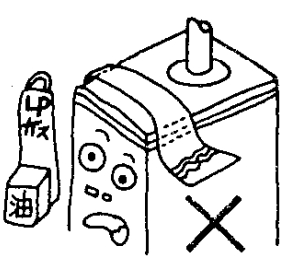
ガス漏れ予防

- 使用中にガスのにおいや、不快なにおいがしていないか時どき確かめてください。
- 使用後は必ず運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。

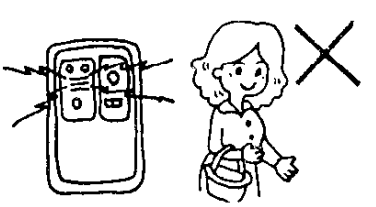


火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。



- 火をつけたまま就寝、長時間の外出は、絶対にしないでください。



特に注意していただきたいこと③

火傷のご注意

●器具の使用中および使用直後は、排気筒が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

換気のご注意

●お部屋の換気口(給気口・排気口)は物などでふさがないでください。

ガス事故防止

●ガス漏れに気づいたときは、すぐにご使用を中止（運転スイッチ「切」，ガス元セン閉止）し、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください

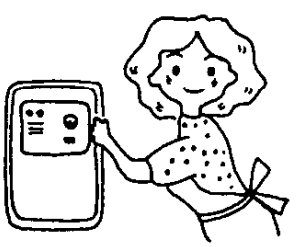
凍結についてのご注意

●厳寒期には、器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので庭のたまり水などが凍るおそれのある日は、給湯センから水を流し放しにするか、器具の中の水を抜くなどして凍結を防止してください。
（凍結による破損防止方法については、9～11ページを参照）

●**凍結したときは**
①器具や配管が、破損し、高額の修理費用がかかる場合があります。
②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。凍結が溶けた後、水もれがないのをご確認の上ご使用ください。

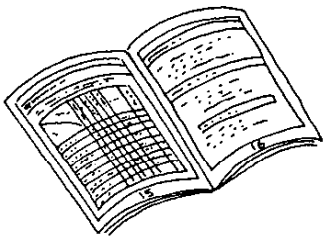
異常時の処置

●ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、すぐにご使用を中止（運転スイッチを「切」、ガス元センを閉止）して十分な点検



特に注意していただきたいこと④

をお願いします。
故障・異常の見分け方と処置方法については15ページをお読みください。



日常の点検・手入れ

●器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。
（点検・手入れの方法については、13ページをお読みください。）

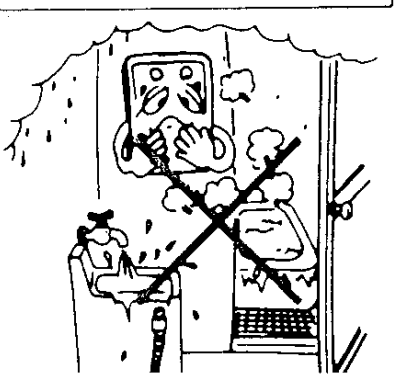
器具の設置

器具の設置について

●器具を安全、快適にお使いいただくために、専門の工事業者におまかせするだけでなく、器具が正しく設置されているか、どうか、お客様自身でもお確かめください。
（器具の設置については別冊の工事説明書をお読みください。）

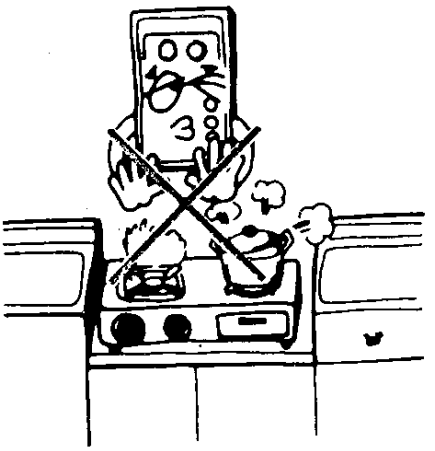
操作盤の設置について

●操作盤は湯気、湿気のないところに設置してください。耐久性上好ましくありません。



器具の設置②

● 操作盤はガスコンロなど燃焼器具に接近する場所への設置は、おさけください。



● 操作盤は屋外に取付けないでください。

使 用 手 順

はじめてお使いのとき

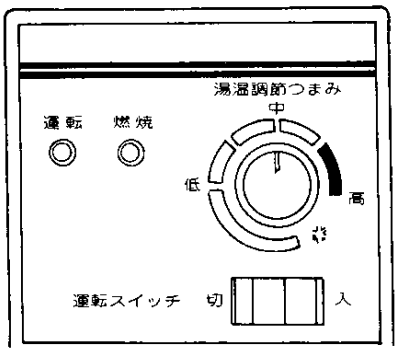
①給水元センを開いてください。
②給湯センを開いてください。
〈ご注意〉給湯センから水の出ることを確かめてください。
③操作盤の運転スイッチが「切」になっていることを確かめてください。
④電源プラグを交流100Vのコンセントにしっかりとさしこんでください。

点火前の準備と確認

①給湯センから水の出ることを確かめてください。
②電源プラグが交流100Vのコンセントにさしこまれていることを確かめてください。
③ガス元センを全開にしてください。

点　火

操　作　盤

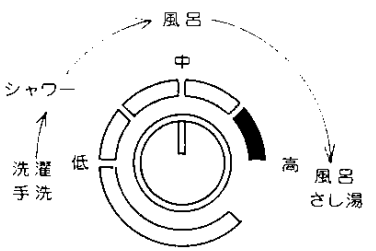


①運転スイッチを「入」にして、運転ランプが点灯するのを確かめてください。約40秒ほどで、燃焼ランプが点灯します。

〈ご注意〉お湯が設定温度になっているときは、燃焼ランプは点灯しません。給湯センを開いて、お湯を出しますと、燃焼ランプがついたり消えたりして、自動運転をおこないます。

〈ご注意〉もし、ブザーが鳴ったときは、一旦運転スイッチを「切」にし、2～3秒まって、再度、運転スイッチを「入」にしてください。数回くり返してもブザーが鳴る場合は、お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

温度調節



①湯温調節つまみをご希望の位置に合わせてください。

「高」(約80℃)熱いお湯をお使いになるとき。**風呂、さし湯**

↑

「中」(約55℃)**風呂**

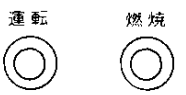
↑(中間)**シャワー**

「低」(約35℃)**洗濯、手洗**

〈ご注意〉「高」でお使いになるとき、お湯を出しすぎますと、お湯の温度は上りません。給水元センで水が出すぎないように制限して、お使いください。

使用手順③

消　　火



①運転スイッチを「切」にしてください。
〈ご注意〉運転ランプと燃焼ランプが、消えていることを確かめてください。

停電時の処置

- ご使用中に、停電になったときは、自動的に運転がとまりますので、危険はありません。
- 停電中は給湯センをとじてください。お湯ではなく、水がでてきます。
- 通電されますと、自動的に運転を始めます。

断水の場合

- 断水になったときは、運転スイッチを「切」にしてください。
  運転していても、危険はありませんが、火がついたり、消えたりしますので電気、ガスが無駄になります。

冬期の凍結による破損防止について

1.給湯センから水を流す方法(一般的な凍結防止方法)

「この場合は単に器具本体だけでなく、給水管、バルブ類の凍結も防止できます」

①運転スイッチを「切」にしてください。
②給湯センを少し開いて水を流してください。
　1分間に牛乳びん1本(200cc)以上、寒い日は多目に流してください。
③流量が不安定なことがありますので、30分ぐらい後に、流量を確認してください。
　水を浴そう(2人用)に入れますと、一晩でいっぱい程度になります。翌日雑用水として、お使いください。

使用手順④

2.湯温調節つまみを※印の位置にあわせる方法（器具のみの凍結防止方法）

●通常のご使用が終わりましたら、運転スイッチを「入」にしたままで、湯温調節つまみを※印の位置にあわせてください。
（器具内の水温が約15℃以下になりますと、自動的に火がついて、水温を15℃以上に保ちます。）

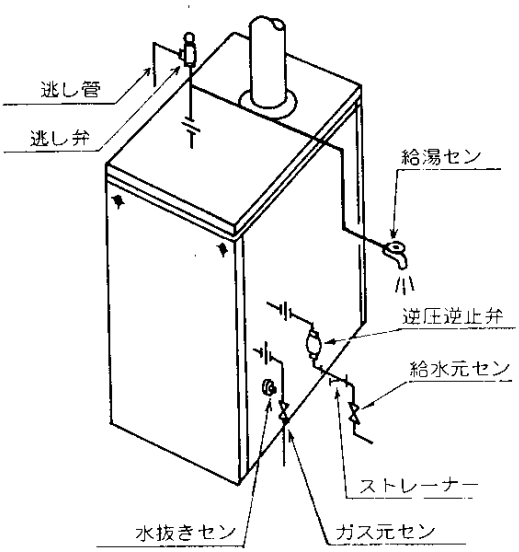
〈ご注意〉給水配管、給湯配管の保温工事が不十分ですと、配管内で凍結することがあります。凍結するおそれのある露出配管、減圧逆止弁、逃し弁および給水元センなどは特にご注意ください。

3.循環ポンプを常にまわしておく方法

●給湯配管を復管式でご使用の場合は、器具の運転をとめて、常時水をポンプで循環しておいてください。

4.器具の中の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合、異常寒期の場合）

「この場合は、給水部分の凍結防止はできません」



●次の手順で水を抜いてください。

①運転スイッチを「切」にしてください。
②ガス元センをとじてください。
③給水元センをとじてください。
④給湯センを開いてください。
⑤水抜きセンツマミを開いて水を抜いてください。
⑥逆圧逆止弁の水抜きセンより水を抜いてください。

〈ご注意〉水を抜き終りましたら、給湯セン、水抜きセンなどは元通りにとじてください。

●再度お使いになるときは、7ページの使用手順にしたがってお使いください。

使用手順⑤

5.給湯センから水を流す方法および湯温調節つまみを✻印の位置に合わせる方法の併用

凍結した時のご注意

●凍結したままで、お使いになりますと、危険ですので絶対に使用しないでください。
〈ご注意〉運転スイッチが「切」になっていることを、確かめてください。

●給水元セン、ガス元センをとじてください。

●凍結が解けた後、再度お使いになるときは、次の手順でおこなってください。

①給水元センを開いてください。

②給湯センを開いてください。

③給湯センから水の出ることを確かめてから、給湯センをとじてください。

④逃し弁のレバーを開いて逃し管から水が出ることを、確認してからレバーを閉じてください。

⑤器具、配管などに、水漏れがないことを確かめてください。
〈ご注意〉水漏れが、発見された場合、給水元センをとじ、水漏れ修理が済むまで使用しないでください。

⑥ガス元センを全開にしてください。

⑦7ページの**使用手順**にしたがって、お使いください。

使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

●ご使用中、自動的に運転がとまってしまったときは、次の方法及び15ページ**故障・異常の見分け方と処置方法**により処置してください。

●安全装置が作動した時は、ブザーが鳴ります。ブザーが鳴った場合、以下の項目をご確認ください。

○種火監視装置（種火に火がつかないとき、運転途中に消火したときガスの通路をしゃ断し、ブザーが鳴ります。）

①運転スイッチを「切」にしてください。

②ガス元センが全開になっているか確かめてください。

③排気トップ近くに障害物がないか確かめてください。

④再度運転スイッチを「入」にしてください。

〈ご注意〉上記の操作を数回くり返しても、ブザーが鳴る場合はお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。

○過熱防止装置（湯温調節が故障したとき、ガスの通路をしゃ断し、ブザーがなります

1）運転スイッチを「切」にしてください

2）ガス元センをとじてください

3）お買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください

使用時の一般的な注意事項

●落雷のおそれのあるときは、ご使用を中止し、電源プラグをコンセントより抜いてください。

〈ご注意〉雷に対して、安全装置は取り付けてありますが、至近距離に落雷しますと安全装置の能力をこえ、器具を破損することがあります。

●ご使用中および使用直後は、排気筒まわりが熱くなりますので、手をふれたりしないでください。

●燃えやすいものや、引火性のものを器具の近くに置かないでください。

使用時のご注意②

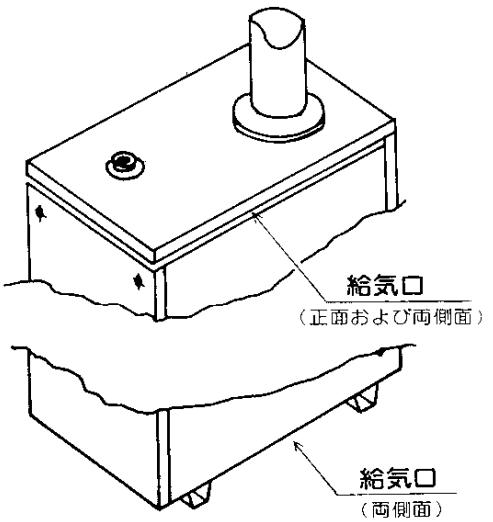
●器具の上(天板)にものを置かないようにしてください。
〈ご注意〉器具の給気口がふさがり、不燃焼をおこす原因になります。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

●お手入れは、やけどをしないように器具がじゅうぶんに冷えてから、おこなってください。

点　　検



●器具の給気口にちりやほこりがたまっていませんか？
●器具の上や、近くに燃えやすいものが置いてありませんか？
●へやの換気口をふさいでしまうものが置いてありませんか？
●排気筒や排気トップが変形したり、破損していませんか？
●漏電しゃ断器はテストボタンを押すことにより、確実に作動しますか？

定期点検について

●器具は、ご使用に支障がなくても、１年に２回位、バーナーや各部の作動が正

日常の点検・手入れ②

常かどうか点検するのが安全に長期間ご使用いただくための秘訣です。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に点検、診断を依頼してください。なお、大阪ガスには、定期点検のための保守契約制度がありますので、ぜひご利用ください。

お手入れ

ときどき

- 器具、給気口のちりやほこりは、きれいにふきとってください。
  給気口にちりやほこりがつまりすぎますと不燃焼の原因になります。
- 器具の上や、近くに置いてあるものは、取除いてください。不燃焼の原因や、火災の原因になります。
- 漏電しゃ断器は、しゃ断器のスイッチを「入」にしたままで、テストボタンを押し、スイッチが「切」になるのを確かめてください。(月に1～2回)
- 排気筒や排気トップが変形したり、破損していると、酸欠中毒や器具故障の原因になりますので修理がすんでからご使用ください

故障、異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象 / 原因	着火しにくい	着火しない	着火するがすぐ消火	爆発的に着火する	使用中に消火した	沸き上りがおそい	湯が出ない、出が悪い	湯は出るが温度が上らない	ファンが回らない	ファンは回るが着火しない	連続高温の湯が出る(90℃以上)	運転ランプが点灯しない	燃焼ランプが点灯しない	ブザーが鳴る	処置方法	処置者 お客さま	処置者 販売店、弊社
ガス元センが開いてない		○											○	○	運転スイッチを一旦「切」にしてから全開にする	○	
ガス元センの開き不充分	○					○		○									
供給ガス圧力が低い	○					○		○							他の器具も同様の場合は点検依頼する		○
ガスストレーナーのつまり	○					○		○									
ガス配管中に水が入っている			○	○									○	○			
電源プラグが抜けている		○							○			○			電源プラグをコンセントに差し込む	○	
停電している		○							○			○			使用を一旦中止する	○	
ヒューズが切れている		○							○			○			点検、修理部品交換を依頼する		○
漏電しゃ断器が作動		○							○			○					
器具に水が入っていない		○							○						給水、給湯せんを開き通水する	○	
水元せんの開き不充分							○								給水せんを全開にする	○	
水圧が低い							○								点検を依頼する		○
お湯の出しすぎ								○							「使用方法(温度調節)」参照	○	
点火装置の電極棒(スパークロッドの汚れ)		○											○	○	点検、修理部品交換を依頼する		○
バーナー安全装置が作動					○								○	○			
温度調節(サーミスタ)断線										○			○	○			
サーミスタ絶縁不良		○							○								
点火トランスの不良		○											○	○			
ファン不良		○							○	○			○	○			
風圧力スイッチ不良		○								○			○	○			
ハイリミット作動		○			○					○				○			
ランプ故障												○	○				
バーナーコントローラ不良		○	○						○		○			○			

長期間使用しない場合

- 操作盤の運転スイッチを「切」にし、ガス元センを必ず閉めてください。
- 給水せんを閉じてください。
- 10ページ記載の器具の中の水を抜く方法の要領で器具の水を抜いて湯アカなどを排出してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 15ページの**「故障、異常の見分け方と処置方法」**の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください

(1) **品　　名** ……（ガス温水ボイラ）
(2) **型　　式** …… 器具右側面に銘板が貼付してあります。
3ページ使用ガスについてのご注意の
図示をご参照ください。
(3) **現　　象** ……（できるだけ詳しく）
(4) **道　　順** ……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- **ガスには都市ガス14種類およびＬＰガスの区分があります。**
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

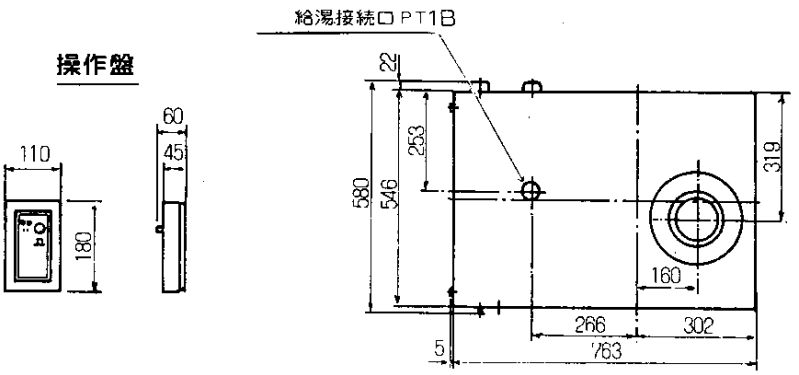
●**この器具には保証書がついています。**
このガス温水ボイラは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

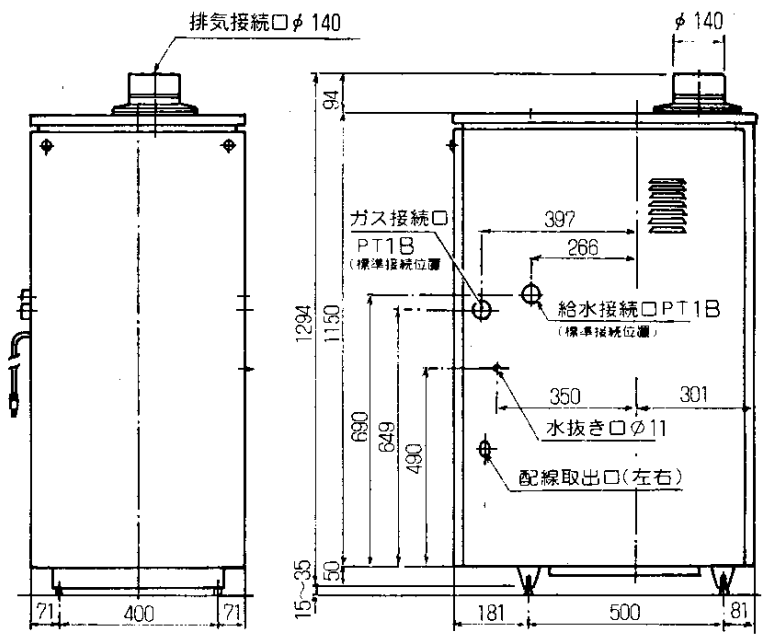
連　絡　先

●本社ガスサービスセンター、支社所在地および電話番号は裏表紙に掲載してあります。

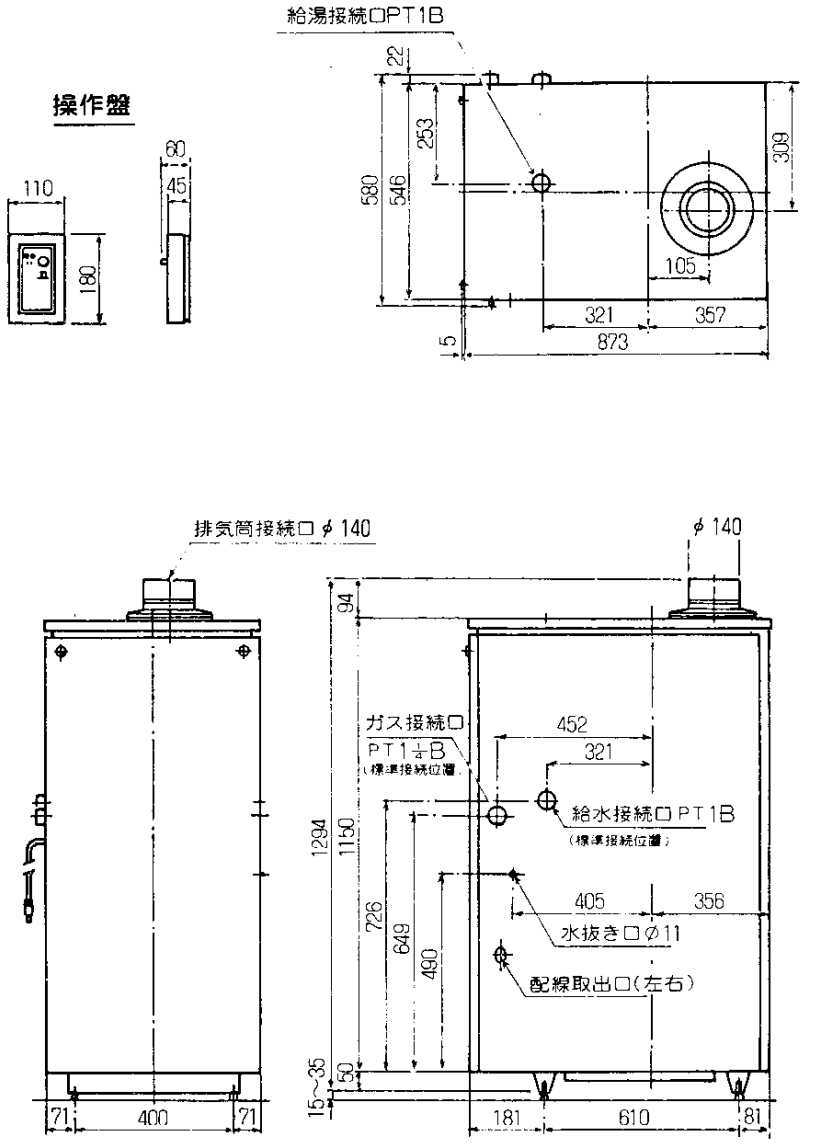
寸　法　図

寸法図（33-313型）



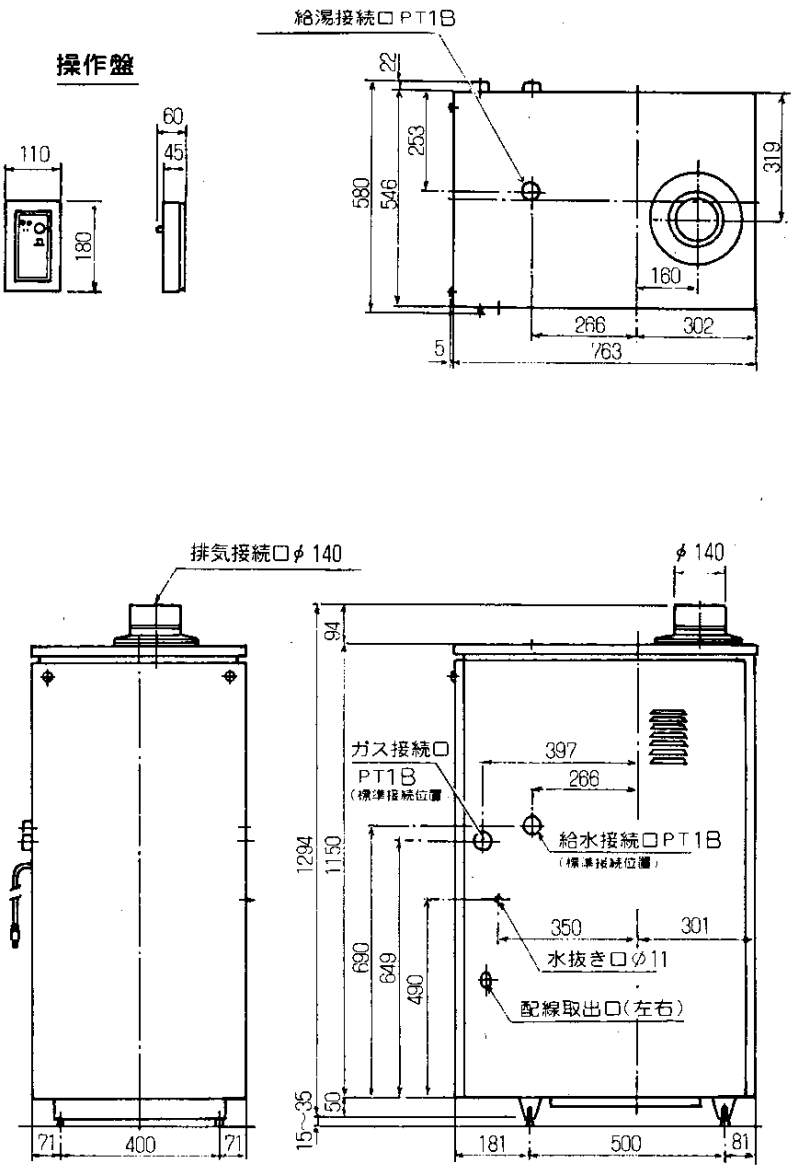


寸法図（33-314型）

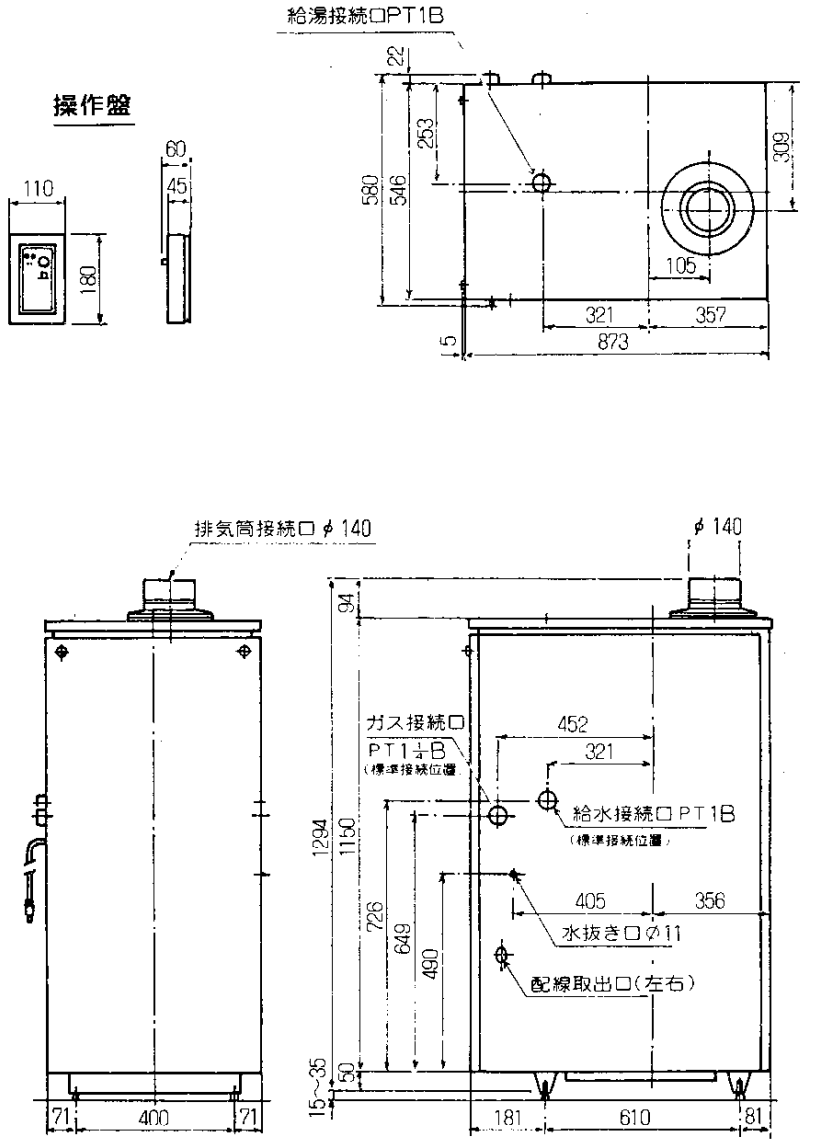

給湯接続口PT1B
操作盤
110
180
60
45
22
253
580
546
309
105
321
357
5
873
排気筒接続口 φ 140
φ 140
94
ガス接続口
PT1/2B
(標準接続位置)
452
321
給水接続口 PT1B
(標準接続位置)
1294
1150
726
649
490
405
356
水抜き口Ø11
配線取出口(左右)
50
15~35
71
400
71
181
610
81

寸　法　図

寸法図（33-313型）



寸法図（33-314型）


給湯接続口PT1B
22
253
580
546
309
105
321
357
873
5
操作盤
110
180
60
45
排気筒接続口 φ140
φ140
94
ガス接続口
PT1/2B
（標準接続位置）
452
321
給水接続口 PT1B
（標準接続位置）
1294
1150
226
649
490
405
356
水抜き口 ∅11
配線取出口（左右）
50
15～35
71
400
71
181
610
81

仕様一覧表

品名		ガス温水ボイラー〈高温瞬間式〉			
型式		33-313		33-314	
設置方式		屋内設置型			
点火方式		連続放電によるダイレクト点火			
燃焼方式		プンゼン			
貯湯量(ℓ)		18		19	
最高使用水頭圧(mH_2O)		10			
伝熱面積(㎡)		1.0		1.2	
ガスの種類		6C	13A	6C	13A
最大消費ガス量(㎥/h)		14.7	5.9	18.9	7.7
標準インプット(kcaℓ/h)		62000		80000	
最大出熱量(kcaℓ/h)		50000		65000	
出湯量(ℓ/分)	25deg	33.3		43.3	
	40deg	20.8		27.0	
	60deg	13.7		17.9	
寸法(mm)	総高さ	1319		1319	
	本体高さ	1150		1150	
	本体総幅	580		580	
	奥行	768		878	
重量(満水時)(kg)		123		137	
接続	ガス(A)	25(PT1 B メネジ)		32(PT1¼B メネジ)	
	給水(A)	25(PT1 B メネジ)		25(PT1 B メネジ)	
	給湯(A)	25(PT1 B メネジ)		25(PT1 B メネジ)	
	水抜き(A)	外径φ11、内径φ6		外径φ11、内径φ6	
電気関係	電源	AC100V 60Hz		AC100V 60Hz	
	消費電力(W)	115		150	
	電源コード長さ(m)	(左取り出し約2m)		(左取り出し約2m)	
排気筒径(φmm)		140		140	
安全装置	バーナ安全装置	炎整流式(フレームロッド方式)			
	漏電しゃ断装置	漏電遮断器(15mA)			
	空焚防止装置	水位感知器(電極棒による流電方式)			
	ハイリミット	100±4℃			
湯温調節範囲		約35~80℃			
付属品		操作盤、取扱説明書、工事説明書、保証書			
備考		熱出力は標準ガス圧力、水温5℃、上昇温35deg時の出力を示します			

特　　長

1 熱交換器は、すべてステンレスですので、飲料用にもご使用できます。

2 従来型(33-173，33-175)より熱効率を約７%アップしましたので維持費が安くなります。

3 従来型(33-173，33-175)より、設置スペースが少なくなります。
新聞紙２ページ程度ですので、買替えされるときは13～22%の余裕があります。

4 強制排気方式(ＦＥ)を採用しています。排気筒径が小さいのでイニシャルコストも安く、美観も向上しました

5 従来型(33-173，33-175)より、約75kgの軽量化をおこないましたので、搬入・据付が容易になります。

6 操作盤を別置きにしましたので、取扱いが容易になります。(操作盤への配線工事及び配線材料費用は器具代金に含んでいません。)

7 従来型(33-173，33-175)安全装置に空焚防止装置、漏電しゃ断装置、をくみこみましたので、安全性が一段とよくなりました。

本製品と快適なくらしのために

快適で清潔な暮らしのパートナー

どんな所にも快適で清潔なお湯が必要です。その意味でお湯は人々の暮らしの、パートナーといえるでしょう。

昔から私達は、さまざまなかたちでお湯を利用して来ました。そして現代はより便利で確実な給湯システムが求められています。いつでも、たくさんのお湯を経済的に供給できるシステムをぜひご利用になってください。

安全で楽しいお湯のある暮らしを、今すぐお届けします。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	〒541	大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202)2221
南支社	〒557	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (652)0001
北支社	〒532	大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301)1251
堺支社	〒590	堺市住吉橋町2丁2番19号	☎堺 0722(38)1131
北摂支社	〒569	高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71)0361
阪神支社	〒662	西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26)3101
東部支社	〒578	東大阪市稲葉2丁目3番17号	☎河内 0729(62)1131
京阪支社	〒573	枚方市西田宮町16番17号	☎枚方 0720(41)1251
神戸支社	〒650	神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576)5231
京都支社	〒604	京都市中京区烏丸御池梅屋町358	☎京都 075(231)8151
奈良支社	〒631	奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社	〒640	和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31)2481
姫路支社	〒670	姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85)2221
東播支社	〒675	加古川市加古川町粟津29−1	☎加古川 0794(21)1801
豊岡支社	〒668	豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07982(3)2221
湖南支社	〒525	草津市追分町字荒堀680の1	☎草津 0775(62)5311
彦根支社	〒522	彦根市大東町9番41号	☎彦根 0749(22)3131
(長浜営業所	〒526	長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496(2)7171)

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

59.04.00